

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、企業業績の改善や個人の雇用・所得環境の好転などにより、引き続き回復基調で推移いたしました。しかしながら、食品業界におきましては、消費者の志向の変化に対応した新商品の開発・投入のサイクルが短くなっており、また、外食業界におきましても、成熟市場の中での店舗数増加による競争激化はもとより、他の業態（中食）との競合もあり、ともに厳しい環境が続いております。

このような状況の中で、当社グループは、創業25年目の記念となる年度を迎え、創業の原点に立ち返り、お客様への感謝の気持ちを込めた「いっしょにたべようピエトロ」をキャッチフレーズに、全社的な販売キャンペーンを実施してまいりました。

この結果、当中間連結会計期間の業績は、売上高52億86百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益5億56百万円（前年同期比14.6%増）、経常利益5億23百万円（前年同期比16.8%増）、中間純利益1億86百万円となり、増収増益を達成することができました。



## ■ 通期の見通し

今後のわが国の経済は、引き続き景気は緩やかな回復基調にあるものと予想されますものの、原油価格の高騰等もあり、当社グループを取り巻く環境は厳しい状況で推移するものと思われま

す。このような状況下におきまして、当社グループは創業の原点に立ち返り、経営課題に積極的に取り組み、平成18年3月期の連結業績予想につきましては、平成17年5月13日公表のとおり売上高102億円（前期比1.6%増）、営業利益7億40百万円（前期比18.8%増）、経常利益6億70百万円（前期比23.9%増）、当期純利益2億50百万円を見込んでおります。

なお、平成18年3月期の個別業績につきましても、売上高100億円（前期比1.9%増）、営業利益8億10百万円（前期比4.7%増）、経常利益7億30百万円（前期比4.6%増）、当期純利益3億30百万円を見込んでおります。

平成17年12月

代表取締役社長

村田邦彦